

しんちゃんの森整備

初夏を思わせる晴天に恵まれた6月4日（土）、「しんちゃんの森*」（新林国有林1131林班い1小班）で今年度第2回目のクロマツ林の森林整備を実施しました。今回の作業は、保育園に接する0.24haの下刈と刈払い物の集積で、参加者は、年長組園児の保護者23名のほか、保育園の先生10名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、庄内森林管理署1名、酒田市農林水産課1名、庄内海岸のクロマツ林をたたえる会1名の総勢40名となりました。

まず、保育園の門田理事長から「しんちゃんの森」で園児達が楽しく遊ぶことができるのも、保護者や行政の皆さんの協力によるもの。」との挨拶があり、次に、下刈用の鎌を使うことが初めての保護者や保育園の先生たちは、庄内森林管理署庄司流域管理調整官から下刈鎌の使い方、安全作業の心得、作業の注意点などの説明を受け、作業を開始しました。

作業者全員が頑張った結果、約1時間程で下草が繁茂していた「しんちゃんの森」は、整然とした林内の景観に見違えるようになりました。

作業に参加したお母さんからは、「使ったことがなかった下刈鎌で草を刈るのに難儀しましたが、きれいになった「しんちゃんの森」で子供達が遊んでいる姿を思い浮かべると嬉しくなりました。」と話してくれました。これからも、園児達が安全に遊ぶことができる環境づくりのため、「しんちゃんの森」を整備していくことの必要性を保護者の皆さんとともに感じた次第です。

最後に、作業を終え達成感を感じた作業者全員で記念写真を撮影し、「しんちゃんの森整備」は終了しました。



※ 酒田市宮海の西荒瀬保育園に隣接し、庄内森林管理署と西荒瀬保育園が協定を締結した「遊々の森」